

連携と一貫

認定こども園、小学校、中学校が1つずつの田尻町では、以前から教職員の連携と子どもたちの交流が行われてきました。

<連携と一貫のちがいについて>

以前から、「園・小・中学校はもうすでに一貫教育をしているのではないか」というお声を耳にします。実際には、「園・小・中学校で連携している」のが現状ですが、今回は、連携と一貫のちがいにふれたいと思います。

連携：＜大人同士のつながり＞ 学校園の教職員が意見交換・情報交換などの機会をもつこと

交流：＜子ども同士のつながり＞連携に加えて、子ども同士が交流する機会

一貫：＜カリキュラム（教育課程）のつながり＞学校園の教職員が「めざす子どもの姿」を共有し、系統立てたカリキュラム編成のもと、育ちや学び・経験をつなぐ（接続する）こと

田尻町では、連携から一貫へさらに一步前に進めていけるよう取り組んでいるところです。めざすべき目標を共有し、すべての教職員が一体となって、0歳から15歳までの子どもたちの成長を切れ目なくつなげ、一貫した教育カリキュラムの実施をめざしています。

<中学生と園児の交流>

中学校のコンピューター部が、試験最終日の時間を使って、エンゼル5歳児のために絵本の読み聞かせをしたり、クイズをしたりして一緒に遊んでくれました。どんなことをすれば喜んでくれるか、どんな言い方をすれば伝わるのか、中学生なりに小さい子の立場になって思いを巡らせ、準備をしてくれました。園児は、自分よりもずっと大きな中学生に、「背が高いなあ」「何歳？」「制服かわいい」と興味津々です。やさしく接してくれるお兄ちゃんたちにすぐに打ち解け、目を合わせて笑い合ったり、一緒にゲームをしたりして楽しむ姿が見られました。そんな園児の期待に応えようと張り切る中学生の姿と、時間が経つにつれお互いの距離が近くなっていく姿が印象的でした。かつての卒園児たちの成長した姿を、エンゼル職員もあたたかく見守ってくれ、とても微笑ましい交流となりました。

中学生が大人へと成長していく過程で園児と触れ合う経験は、「自分にもこんな時期があったんだな」と自身の成長を感じると共に、大人に近づいていっている自覚が芽生えます。園児にとってもあたたかく自分を受け入れてくれる存在は、人を信じる心へとつながっていきます。一貫した教育カリキュラムだけでなく、園・小・中を一体化することにより、このような日常的な交流があちこちで自然発生し、数値化することのできない心の成長につながればと思います。



こども園・小学校・中学校のホームページがリニューアルされました！



こちらのQRコードから
ご覧ください。

NEW ホームページ➡

